

わ エコ湧〜く かわら版

発行所
別府市環境課
〒874-8511
別府市上野町1-15
TEL. 21-1134
FAX. 21-1105
e-mail:
env-le@city.beppu.oita.jp

リサイクル情報センターのごみ減量の取り組み

今年2月より開始したペットボトルキャップの回収事業ですが、7月1日からは朝日、亀川、南部各出張所での回収も始まり利便性も向上しました。

7月末現在の回収量は69万個を超え、そのすべてを積み重ねると高さにしておよそ10365メートルとなり世界最高峰のエベレストを遥かに超え、富士山の3倍の高さに迫る回収量になっております。

（1個1.5cmで換算）



重量では、およそ1727kgのごみの減量化につながっています。
（1個2.5グラムで換算）

回収したペットボトルキャップはリサイクル事業者へと運搬され、その収益からワクチンを購入し、世界の子供たちへ届けられています。別府市では7月末までに皆さんから回収したペットボトルキャップのうち、1170kgを運搬しており585人分のワクチンが購入されたこととなります。（ポリオワクチンで換算）

フリーマーケットのススメ

ごみを分別して資源を有効に活用するのもごみ減量への大事な一歩です。でも、リサイクル（再資源化）よりもリユース（再使用）の方が大切ですよ！！という事で、9月19日（日）に、別府市主催のフリーマーケットがリサイクル情報センター隣り「勤労者体育センター」で開催されます。家庭で眠っている不用品を必要な方へ手へ届け、ごみの減量、リユースの推進にもつながりますので、ご家族お友達お誘い合わせのうえぜひお越し下さい。

※フリーマーケットについて詳しくは市報9月号にも掲載しておりますのでご覧ください。



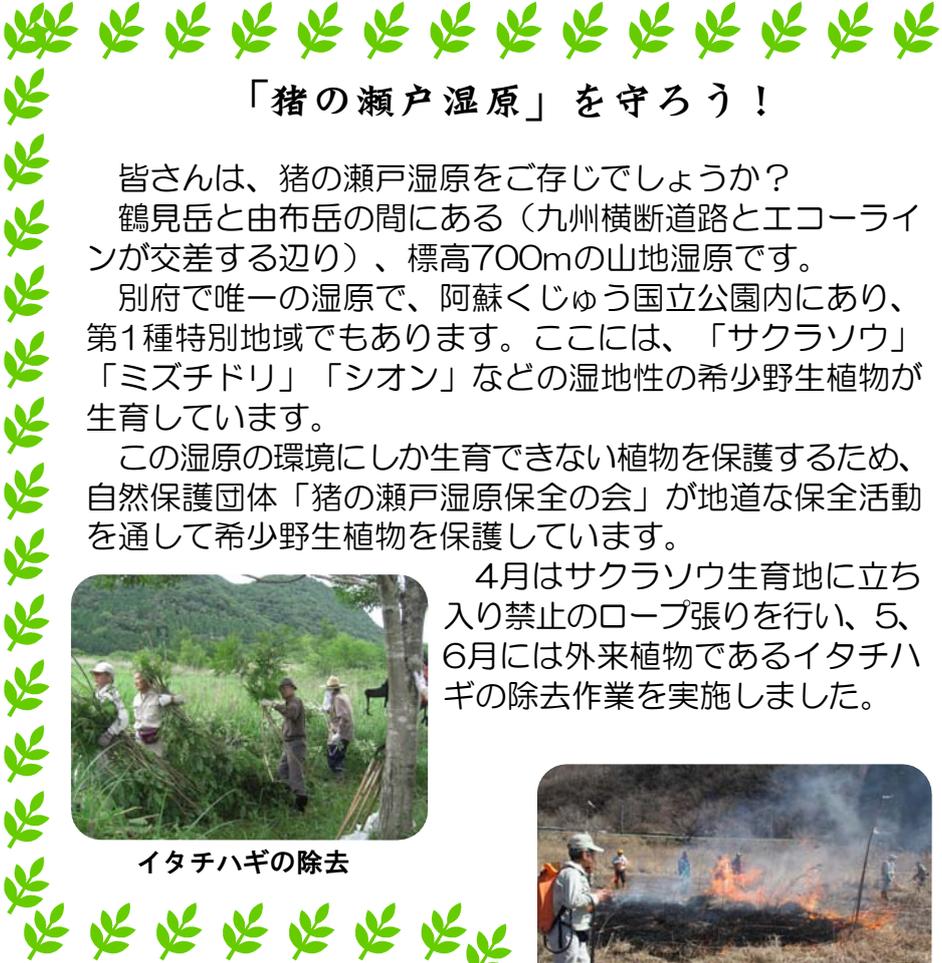
「環境クイズ」「レジ袋無料配布の中止」の取組に参加している県内食品スーパーでの、1年間のマイバッグ持参率は何%?

① 約65%

② 約75%

③ 約85%

♪ 再生紙を選ぼう ♪



「猪の瀬戸湿原」を守ろう!

皆さんは、猪の瀬戸湿原をご存じでしょうか？
鶴見岳と由布岳の間にある（九州横断道路とエコーラインが交差する辺り）、標高700mの山地湿原です。
別府で唯一の湿原で、阿蘇くじゅう国立公園内にあり、第1種特別地域でもあります。ここには、「サクラソウ」「ミズチドリ」「シオン」などの湿地性の希少野生植物が生育しています。
この湿原の環境にしか生育できない植物を保護するため、自然保護団体「猪の瀬戸湿原保全の会」が地道な保全活動を通して希少野生植物を保護しています。



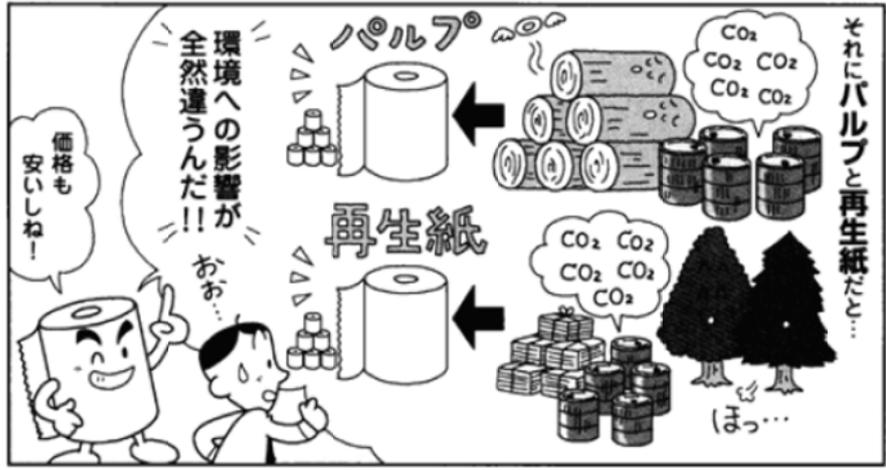
イタチハギの除去

4月はサクラソウ生育地に立ち入り禁止のロープ張りを行い、5、6月には外来植物であるイタチハギの除去作業を実施しました。



生育環境の整備

参加する会員は別府市以外に在住する人も多く、ボランティア活動にもかかわらず、遠くから駆けつけてくれるそうです。この活動は、大分県の指定希少野生動植物である「ヒメユリ」の保護管理事業の一環でもあります。



※ 市内15箇所で、再生紙の原料となる紙パックの回収を行っています

キャンドルナイト2010 ~エコの灯をつなごう~



幻想的な灯り

6月19日（土）に「やまなみ保育園（竹の内）」でキャンドルナイトが行われました。参加者は「こどもエコクラブ※」に所属する、保育園児から小学生の約50人。自作した300個もの「廃油キャンドル」の光が揺らめく幻想的な雰囲気の中で、「クイズ」や「人形劇」を通して環境について学んでいました!



エコクラブのメンバー（一部）

子ども達は「でんき」を消していつもと違った夜を過ごすことで、「でんき」の大切さについて実感することができたようです。皆さんも「でんき」を消していつもと違う夜を過ごし、環境問題について考えてみてはいかがでしょうか？

※「大平山友遊エコクラブ」と「やまなみこどもエコクラブ」

→ 出典 「グリーン購入取組ガイドライン」

508号 ③ 【お知らせ】